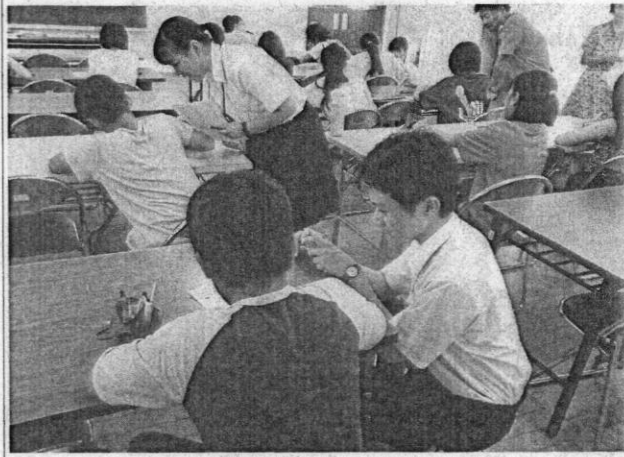


国府台高の生徒18人

小中学生に学習を指導



児童に勉強を教える高校生たち

県立国府台高の生徒18人が7月22日～25日と先月21日～23日にかけて、市川市立小・中学校4校で行われた学習会に教師の補佐役として参加した。

同高が2015年から、将来教職を志望する生徒らに参加を呼び掛けて毎年実施している取り組み。今年は各教室に3～4人の生徒が参加し、市川小と国府台小、中国分小の3

年生と6年生に算数、説明したりしていた。一中の生徒に全教科を指導した。と、思い、昨年続き参加した。教えるのは大変な部分もあったけれど、小学生のいろいろな話を聞いたのが面白かった」と充実した表情で話していた。

先月22日に市川小で行われた学習会では、6年生約20人が1学期の算数を復習。参加した同高の生徒3人は、席を回りながら正解に赤丸をつけたり、悩んでいる児童に図を描くなどして笑顔で丁寧に説明したりしていた。小学校教諭を目指しているという同高2年の三上はるかさんは「今年初めて参加した。自分が当たり前に行っていることでも、小学生にそれを分かりやすく教えるのが難しかった」と、同じく2年生の中井凜基さんは「いろいろな経験を積みたい」と話していた。